



## 1. 総代制度について

気仙沼信用金庫は、会員同士の「相互信頼」と「互恵」の精神を基本理念に会員一人ひとりの意見を最大の価値とする協同組織金融機関です。したがって、会員は出資口数に関係なく1人1票の議決権を持ち、総会を通じて当金庫の経営に参加することとなります。しかし、当金庫では会員数がたいへん多く総会の開催は事実上不可能です。そこで、当金庫では会員の総意を適正に反映し充実した審議を確保するため、総会に代えて総代会制度を採用しております。

この総代会は、決算、取扱業務の決定、理事・監事の選任等の重要事項を決議する最高意思決定機関です。したがって、総代会は総会と同様に会員一人ひとりの意見が当金庫の経営に反映されるよう、会員の中から適正な手続きにより選任された総代により運営されます。

また、当金庫では総代会に限定することなく日常の事業活動を通じて、総代や会員とのコミュニケーションを大切に、さまざまな経営改善に取り組んでおります。

なお、総代会の運営に関するご意見やご要望につきましては、総務課またはお近くの営業店までお寄せください。

## 2. 総代とその選任方法

### 総代の任期・定数

- ・総代の任期は2年です。
  - ・総代の定数は、60名以上90名以内で、会員数に応じて各選任区域ごとに定められております。
- なお、平成27年3月末日現在の総代数は60人で、会員数は9,460人です。

### 総代の選任方法

総代は、会員の代表として、会員の総意を当金庫の経営に反映する重要な役割を担っております。

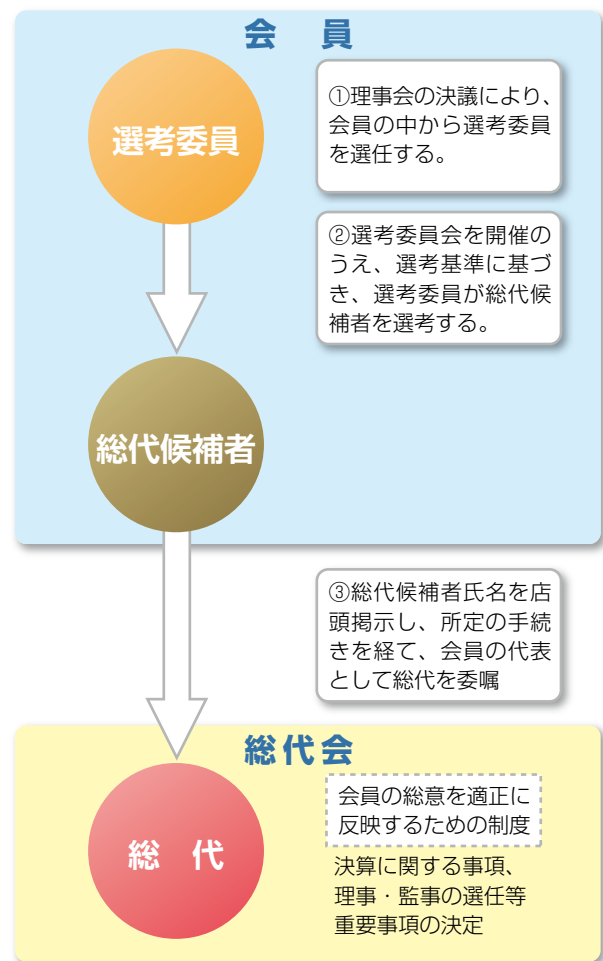
そこで、総代の選考は総代候補者の選考基準(注)に基づき次の3つの手続きを経て選任されます。

- ①理事会の決議により、会員の中から総代候補者選考委員を選任する。
- ②選考委員会を開催のうえ、総代候補者選考委員が総代候補者を選考する。
- ③上記②により選考された総代候補者を会員が信任する(異議があれば申し立てる)。

(注)総代候補者の選考基準

- ①資格要件
  - ・当金庫の会員であること
- ②適格要件
  - ・総代として相応しい見識を有している方
  - ・良識をもって正しい判断ができる方
  - ・人格に優れ、金庫の理念・使命を十分理解している方
  - ・その他総代選考委員が適格と認めた方

総代会は、会員一人ひとりの意見を適正に反映するための開かれた制度です。



## 3. 第89期通常総代会の決議事項

第89期通常総代会において、次の事項が付議され、それぞれ原案のとおり承認されました。

- ①報告事項
 

平成26年度業務報告書、貸借対照表及び損益計算書報告の件
- ②決議事項
 

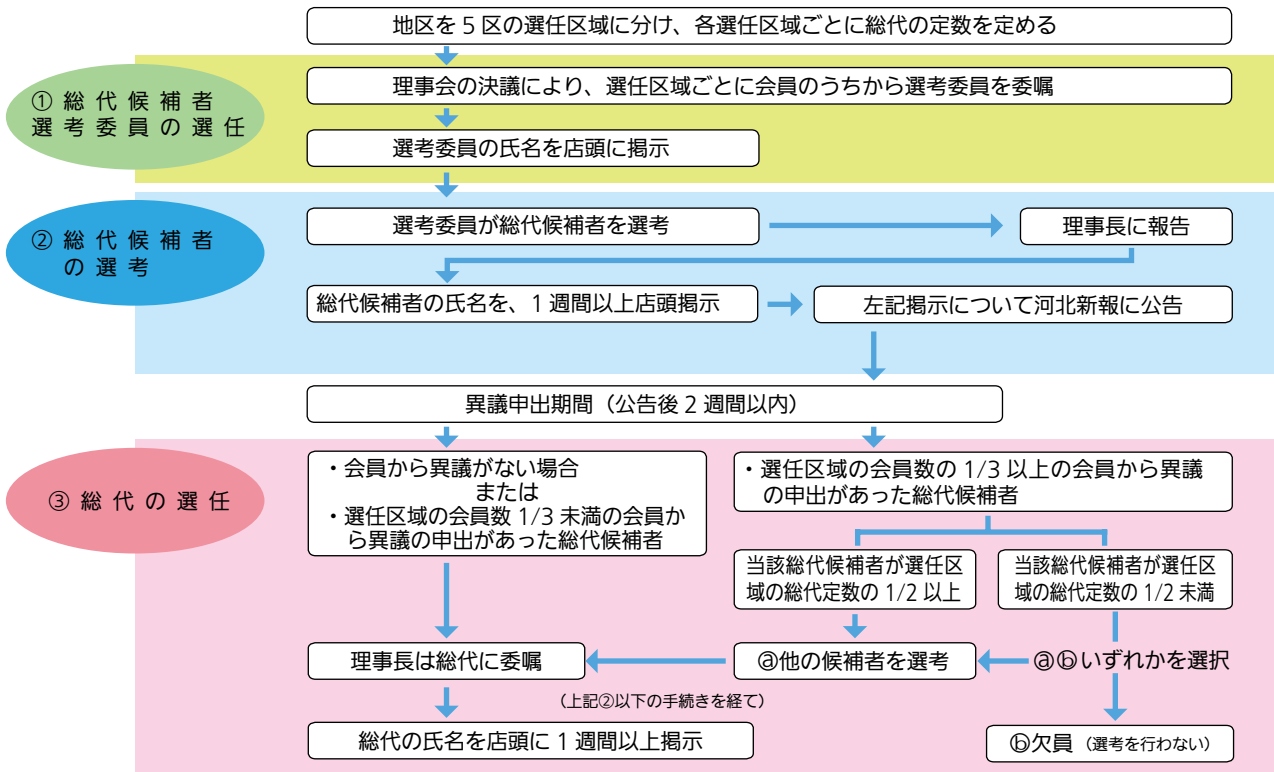
第1号議案 剰余金処分案承認の件  
第2号議案 平成27年度理事・監事報酬額等決定の件



第89期通常総代会



〈総代が選任されるまでの手続について〉



4. 総代の氏名等 (順不同・敬称略)

総代定数60名 平成26年4月25日選任

第1区 定数18名 八日町～田中方面、新月、一関市

赤間文彌 ⑮ 猪狩金次郎 ⑦ 石川勇人 ⑥ 伊藤栄一 ③ 伊藤榮久男 ⑥ 岡本寛 ⑥  
 熊谷功 ⑦ 郷古良英 ⑦ 小松公弥 ③ 櫻田和男 ⑯ 高木義弘 ⑫ 高橋台蔵 ⑥  
 千葉拓也 ⑦ 畠山昭四郎 ⑦ 廣野浩 ⑦ 村上武 ② 本山伸一 ③ 森田潔 ①

第2区 定数5名 南町、魚町、大島

尾形和優 ⑨ 小山堅 ⑤ 谷村明信 ③ 畠山享子 ③ 村上力男 ⑤

第3区 定数15名 内の脇地区、松岩～階上

内海哲郎 ⑤ 大島忠俊 ⑥ 小野寺晶 ⑥ 小野寺孝二 ② 小野寺忠義 ⑦ 小野寺哲五郎 ⑥  
 菅野巖 ⑦ 菊田勝三 ② 清水敏也 ① 高田俊孝 ③ 鶴本正輝 ⑥ 畠山軍治 ⑥  
 畠山成喜 ⑦ 三浦剛 ③ 吉田喜市 ⑬

第4区 定数11名 鹿折～大船渡市

小野寺林 ⑨ 加藤宣夫 ⑨ 亀谷寿朗 ③ 熊谷英二 ⑥ 昆野文男 ⑥ 佐川真一 ③  
 武田貞一 ⑥ 中井昭樹 ⑥ 宮澤信平 ⑤ 村上幸光 ④ 吉田芳幸 ⑤

第5区 定数11名 津谷～南三陸町

伊藤敏成 ② 佐藤友彦 ⑧ 佐藤雅俊 ⑥ 高橋幸記 ② 高橋長偉 ⑫ 高橋正宜 ⑤  
 畠山英記 ⑥ 本田吉春 ③ 三浦一夫 ⑩ 三浦忠利 ⑦ 三浦正利 ⑧

※氏名の後の数字は総代への就任回数

〈総代の属性別構成比〉 ※業種別の構成比は、法人・法人代表者、個人事業主に限る。

職業別 法人・法人代表者83%、個人事業主12%、個人5%

年代別 70代以上40%、60代以上38%、50代以下22%

職業別 製造業23%、建設業13%、卸・小売業32%、サービス業10%、その他22%

